

りゅーとぴあレジデンシャルカンパニーの今後の活動方針（案）

【活動方針】

◎レジデンシャル制度の発展・成熟を図り、創造活動を行う国内他都市の公共ホールにも波及する優良な事例となるよう、レジデンシャル活動に取り組む。

レジデンシャル活動が、公共ホールに求められる役割を果たしているか、外部評価を含め毎年度成果を検証し、改善に取り組む。

【今後の Noism 活動】

◎Noism 設置目的の(2)及び(3)を達成するため、以下に掲げる改善すべき項目について合意がなされた場合、活動期間を2年間延長し2022年8月までとする。

<専属舞踊団の設置目的>

- (1) 新潟において、質の高い新たな舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する。
- (2) 地方から大都市に向けての新たな舞台作品の創造・発信のネットワークを形成する。
- (3) 活動を通して、新潟における舞踊の普及・育成などを図り、市民文化の振興に貢献する。

①地域貢献のための活動を積極的に実施する。

例) 洋舞踊協会や高校ダンス部等とのコラボレーション、小・中・高校等へのアウトリーチ（学校訪問）活動等

②国内他館との信頼関係を築き、ネットワークを拡大する。

③りゅーとぴあ舞踊部門として Noism 以外の公演も市民に提供する。

④業務の進め方については、りゅーとぴあの規約等コンプライアンスを遵守し、十分に意思の疎通を図る。

例) プロデュース、マネジメント担当者の配置と活用

⑤超過勤務の縮減など、スタッフの労務管理に配慮する。

⑥Noism の予算額は、りゅーとぴあの文化事業全体のバランスで調整するため、減少する可能性がある。

【評価・検証】

◎改善項目の実施状況について、活動年度終了後に自己評価及び外部評価を実施する。